

電力スマートメーターの通信網を活用したガス自動検針サービスの導入に関する 基本協定の締結について

静岡ガスエネルギー株式会社（静岡市駿河区、代表取締役社長：伊藤 晴生、以下「静岡ガスエネルギー」）および、中部電力株式会社（名古屋市東区、代表取締役社長：林 欣吾、以下「中部電力」）は、中部電力が提供するスマートメーターの通信網を活用したガス自動検針サービスの静岡ガスエネルギーへの導入について合意し、本日、基本協定を締結いたしました。

現在、人口減少・高齢化社会の到来に加えて、情報技術の高度化やお客さまニーズの多様化を踏まえ、ICTやIoT技術を活用した検針業務の省力化や新たなサービスへの期待が高まっています。

静岡ガスエネルギーは、これまで供給エリア（静岡県内）の一部で電話回線によるLPガス使用量・ガス漏れ等の警報情報・ガス残量データの遠隔取得およびLPガスメーターの遠隔遮断・復帰等を行ってまいりました。

今後、基本協定に基づき、2021年度から静岡ガスエネルギーの主に富士川以西の供給エリアにおいてLPガスメーターへの無線通信端末の設置を進め、中部電力のスマートメーターの通信網を活用した自動検針等を行うことで、検針業務の省力化ならびにお客さまサービスの向上に努めてまいります。

中部電力は、社会課題の解決に貢献するコミュニティサポートインフラ事業の一環として、電力スマートメーターの通信網を活用した自動検針サービスを提供し、静岡ガスエネルギーの自動検針導入を支援してまいります。

<ガス自動検針サービスのイメージ>

